

令和 6 年度 医療安全委員会 活動報告

■委員名	委員長：依藤泰子 副委員長：上畑克哉 委員：赤坂友美・小谷一也・川村三代・庄司勝子・岡田美賀子・向井純子 田内千恵子・北野 貞
■開催回数	6 回
■活動目標	1. 医療・看護の質の向上と安全を推進し、医療安全にかかわる人への支援を行う。 2. 各支部間での連携を図り、医療安全に関する情報収集、共有、情報発信に取り組む。
■活動内容	1. 病院、クリニック、介護施設、訪問看護ステーションなどへの医療安全推進の支援 1) 出前講座の実施 2 件 令和 6 年11月14日：六島クリニック KYT 実践研修 令和 7 年 2 月20日：中林病院 2) 出前講座実施後の評価を行い、次の活動につなげる。 啓蒙ポスターの見直し、募集・開催時期の再検討、資料の見直しを行った。 2. 支部での活動報告の共有 1) 各支部の医療安全活動や研修について情報共有 (1) 支部研修開催予定をホームページへ掲載した。 (2) 医療安全管理者同士の交流と情報交換 2) 各支部で開催されている共通の研修内容については、支部間で連携し、全体での合同開催を検討する。 3) LINE 登録の推奨 4) 研修後アンケートの統一
■活動の評価	出前講座の実施は 2 件にとどまった。今後の改善策として、ポスターの内容を見直すとともに、配信の時期を早めることや、募集期間の延長を検討する必要がある。 また、支部報告では、研修講師や内容に関する情報交換が行われ、各支部で活用できるヒントが得られた。例えば、ポスター作成や広報の手法に関する工夫が挙げられる。さらに、共通するテーマや講師による研修の場合は、協会主催での開催を検討する意見もあり、支部単位にとどまらず、委員会としての開催も視野に入れたい。
■今後の課題	出前講座の活性化を図り、地域における安全意識の向上と質の向上を目指すことが重要である。そのためには、安全管理者が不在の施設やクリニックへの広報を強化する必要がある。具体的には、ホームページや SNS、委員会からの発信、メール配信などを活用し、繰り返し周知を行うことで実施件数の増加を目指す。 また、支部ごとに類似した研修を実施した結果、参加者が少ない支部もあった。この課題を踏まえ、支部を超えた交流の場として、委員会主催の研修を計画する予定である(令和 8 年度実施予定)。
■看護協会への提言・要望	HP や LINE が十分に浸透していない要因を分析し、効果的にアピールしてほしい